

分野		科目名		配当年次		開講期	
専門分野		対人援助論		2年次		後期	
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無	
1単位 (15時間)		16時間		大島 ゆかり		無	
授業の概要		対人援助の概念を理解し、関係の力で援助が実践できるようになるための基礎的能力を養うことを目的とする。					
到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 対人援助の概念と専門職性が理解できる。 人間の苦しみの種類と構造を理解し、事例の痛みは何かを検討できる。 キュア概念とケア概念を理解し、事例の援助について検討できる。 援助的コミュニケーションの原理を用いて、援助について検討できる。 					
授業計画	No.	授業内容			授業方法	備考	
	1	対人援助の概念 1) 何を援助するか。 ① 「援助」とは、苦しみを和らげ、軽くし、なくすこと ② 苦しみの構造・苦しみの種類			講義	小レポート①	
	2	2) なぜ援助するか。 ① 人間存在はケア (Care) である。 ② 他者の理解と共感は困難である。			講義	小レポート②	
	3	3) どのように援助するか。 ① 意識の志向性の3つの特性 (方位性・思念作用・明証性) ② 関係の成立・循環性・固有性			講義	小レポート③	
	4	③ 痛みへの援助～キュア概念とケア概念			講義	小レポート④	
	5	④ 援助的コミュニケーションの原理・方法			講義	小レポート⑤	
	6	援助的コミュニケーションの実践 援助の振り返り～会話記録の記載、講読			講義		
	7	援助的コミュニケーションの検討① ～何を援助したのか、なぜ援助になったのか、どのように援助になったのか～			講義	成人・老年看護学実習Ⅲでの事例検討	
	8	援助的コミュニケーションの検討② ～何を援助したのか、なぜ援助になったのか、どのように援助になったのか～			講義	成人・老年看護学実習Ⅲでの事例検討	
評価	レポート評価 100点 ①小レポート 各4点×5回分 (20点) ②終講後レポート 「過去の私、現在の私、未来の私」各800字、合計2400字 (80点)						
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 村田久行. 改訂増補 ケアの思想と対人援助. 川島書店. 1994. 村田久行. 長久栄子 せん妄 (シリーズ・現象学看護1). 日本評論社. 2014. 村田久行. 苦しみを和らげる認知症ケア. 川島書店. 2023 						
備考							